

植物から
繊維へ

繊維から
糸へ

麻糸

葛糸

藍で染めた
芭蕉糸

ワタノサネクリ

綿毛と綿の種子を分ける道具。上部の丸い棒の間に綿を入れ、ハンドルをまわすと、綿毛だけが先に送られる。

特集 | 企画展

装いの民俗

令和7年6月12日(木) — 8月31日(日)

黎明館3階 企画展示室

毎日の暮らしには、仕事や普段の生活の場から冠婚葬祭のハレの場まで、さまざまなシーンがあります。そして、人々はそれぞれのシーンに合わせて服を仕立て、装ってきました。葛や芭蕉など植物の繊維を使った鹿児島県内の特色ある衣服や色鮮やかな晴れ着、可愛らしい産着等と、糸作りから服を仕立てるまでの道具と一緒に紹介します。

関連イベント 申込詳細は、ホームページまたはチラシをご覧ください。

— 学芸講座(展示解説講座)「装いの民俗」

| 講師 | 黎明館主査 古殿 志賀子

| 日時 | 6月22日(日) 13:30 ~ 15:00 | 会場 | 黎明館3階 講座室

事前申込制(電子申請または往復ハガキ) 【応募期間: 5月22日(木) ~ 6月5日(木)】

講座後に、企画展示室で展示解説を行います(要団体入館料)

— 講演会「芭蕉布の科学研究」

| 講師 | 沖縄科学技術大学院大学 野村 陽子氏

| 日時 | 6月29日(日) 13:30 ~ 15:00 | 会場 | 黎明館2階 講堂

事前申込制(電子申請または往復ハガキ) 【応募期間: 4月25日(金) ~ 6月11日(水)】

— 展示解説

| 日時 | 7月12日(土)、7月26日(土)、8月3日(日)、8月23日(土)

各日とも13:30 ~ 14:10

| 会場 | 黎明館3階 企画展示室 (要入館料、事前申込不要)

糸車

ザグイ

繭繭から糸を引き出し、巻き取る道具。糸を巻き取ることが手繰りと言われ、座って行うことからこの名前がついた。

オゴケ

紡がれた糸を保管するための桶。麻糸や絹糸など、たくさんの糸が入れている。

背守り付きの産着(男児用)

— 自動車や飛行機、おもちゃの柄がかわいい —

背守り付きの産着(女児用)

— 花が散りばめられた、かわいらしい産着 —

麻の晴れ着

盆や正月、年中行事など、お祭りのときに用いられる着物を晴れ着という。袖や背に紋が入れられており、家や地域の大切な行事で着たのであろう。

クズタナシ

葛の繊維で織った布から仕立てられた。普段着や仕事着として用いられた。

芭蕉衣

芭蕉の繊維で織った布から仕立てられた。さらりとした手触りで、南西諸島の夏の衣料として好まれた。